

避難生活支援

リーダー / サポーター研修

「災害関連死・ゼロ」を目指して

参加
無料

近年、災害の多発や避難生活の長期化による**災害関連死**の増加がますます懸念されています。

災害関連死を防ぐためには、地域社会の多様な人々が連携し、互いに支え合うことが不可欠です。

本研修では、災害時の避難生活の環境向上に貢献できる地域の人材「**避難生活支援リーダー／サポーター**」としてご活躍いただくことを目指し、演習・グループワークを中心に、**避難生活の環境改善のための実践的な知識・ノウハウ**を学びます。



研修（避難所運営演習）

日時

1日目：令和7年11月22日（土）10:00～16:00

2日目：令和7年11月23日（日）10:00～16:00

会場

富津市立富津中学校 体育館

〒293-0006 千葉県富津市下飯野1283-1

※駐車場あり

実践に
役立つ

どなたでも
参加可能

持ち物

研修テキスト、うわばき/スリッパ、昼食、飲み物、筆記用具、バインダー（クリップボード）

プログラム

1日目

- ・多様な被災者の心情や状況の理解
- ・避難生活の課題と生活環境の整備

2日目

- ・対人コミュニケーション
- ・避難所運営の担い手との連携・協働



▲研修の詳細内容については、研修紹介動画を御覧ください



この研修は、内閣府「避難生活支援・防災人材育成エコシステム」の構築に向けたモデル研修として実施するものです。

詳細は裏面へ

研修当日までに事前学習が必要です

研修テキスト

避難生活支援に必要な基礎知識や、過去の災害における課題と対応事例などをまとめたテキストをお送りします。事前に読んでください。

オンデマンド動画

研修テキストの中でも、特に重要なポイントを解説した動画を、研修前にご視聴いただきます。
(約2時間)

お申し込み後、研修テキストとオンデマンド動画の情報をお送りします。



研修講師



頼政 良太 氏

被災地NGO協働センター 代表/
関西学院大学 人間福祉学部 助教

大学入学と同時に学生ボランティアサークル「神戸大学学生震災救援隊」に参加。能登半島地震(平成19年)被災地での足湯ボランティアを皮切りに、夜回りによるホームレス支援、フリースクールサポートといった様々な活動や、数々の国内の災害救援活動に従事。被災地NGO協働センターのアルバイトスタッフから正社員を経て、平成27年、同NGO代表に就任。現在は助教として、関西学院大学人間福祉学部で災害時のボランティア活動や災害復興について研究している。



細谷 真紀子 氏

ゲンサイデイズ 代表/
山形県自主防災アドバイザー

東日本大震災をきっかけに、危機管理の中に暮らしの視点を持つ、復興を見据えた事前防災の重要性を伝える「ゲンサイデイズ」を起業。市民団体の代表も務める。アドバイザーや図上訓練など行政に関わる活動の他、男女共同参画や要支援者などの社会課題とされる防災にアプローチし、災害による被害を日常の視点から減らしていく活動を実施。東北を中心に全国各地で講演や訓練を行う。直近では令和6年7月豪雨災害にて、山形県の現地避難所アセスメントや被災者の復興支援にあたる。



公門 寛稀 氏

PublicGate 代表

佐賀県佐賀市出身。令和2年から令和5年まで佐賀県大町町の地域おこし協力隊として防災担当を務め、自治体職員として地域防災に尽力。熊本地震以降の災害ボランティアや災害支援NPOでの経験を活かし令和3年の佐賀豪雨の対応を行う。現在は独立し、自治体・地域住民・NPOをつなぐ役割を果たしながら、地域全体の防災力向上を目指している。平時からの地域コミュニティ強化を重視し、各種イベントを通じて地域社会の防災力向上に努めている。



お申込方法・窓口

- ・ 右下のQRコードを読み込み、ウェブフォームに必要事項を入力してお申し込みください
 - ・ ウェブフォームでのお申し込みが難しい場合は富津市防災安全課にお問い合わせください
- ※募集定員を超えた場合は、抽選となりますのでご了承ください。

募集締切：10月24日（金） **申込終了**

お申込に関するお問い合わせ先

富津市役所 防災安全課（3階33番窓口）担当：野呂
〒293-8506 千葉県富津市下飯野2443番地
TEL：0439-80-1266

申込用
QRコード



※QRコードは特許登録商標です

研修に関する お問い合わせ先

内閣府業務受託事業者 避難生活支援リーダー／サポーター研修事務局
株式会社ダイナックス都市環境研究所（担当：小池、津賀）

TEL：03-5402-5355 MAIL: leader-supporter@dynax-eco.com